

令和4年度 数学 科
教科名等

校内科目名	学習指導要領 の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
数学Ⅱ	数学Ⅱ	2	A B C D E F ▼	4	必履修	140 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
授業形態	習熟度(2クラス3展開)
教科書	改訂版 高等学校 数学Ⅱ, 数研出版
使用教材等	改訂版 教科書傍用クリアー 数学Ⅱ+B 改訂版 クリアー数学Ⅱ完成ノート 1式と証明 2図形と方程式 3三角関数, 指数・対数関数 4微分法と積分法 増補改訂版 チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B

科目の目標・内容等

学習目標	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。
学習における留意点	数学Ⅰまでの内容を理解できていること。
予習・復習	教科書を用いて予習を行い、問題集で復習を行う。
評価方法	定期考査、提出物、小テスト等で総合的に判断する。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	第2章 複素数と方程式 第2節 高次方程式 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域	・数の範囲を複素数まで拡張し、2次方程式や高次方程式が解けるようにする。 ・座標や式を用いて、直線や円などの平面図形の性質や関係を数学的に表現することができるようにする。	・基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ・事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
2	第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	・角の概念を一般角まで拡張して、三角関数及び三角関数の加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	・基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ・事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
3	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	・微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	・基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ・事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。